

発行 吉備人出版 岡山市北区丸の内2丁目11-22
お問い合わせ・本のご注文は
電話 086-235-3456 FAX 086-234-3210

夏休み。
読書三昧!!



岡山の文化財に興味・関心を持ってね。
『おかやまの文化財 工芸・史跡』(臼井洋輔著)を
県内の小中学校、公共図書館に寄贈



「文化財との対話」をキーワードに、
国宝の刀・鎧をはじめ、焼物、史跡
などの文化財から普遍的な価値、
本質について丁寧に分かりやすく解
説しています。著者は、岡山県の文
化財研究の第一人者である臼井洋輔
先生。カラー写真や図版を豊富に使用。
小学生から高校生、一般の方まで
読みやすいのが特徴です。
『おかやまの文化財』シリーズは、
今年度の「工芸・史跡」に始まり今
後3年間にわたって刊行。次年度は
「建築・自然」、次々年度は「人物、
その他」を予定しています。

※この本の制作、寄贈は
公益財団法人 福祉教育文化
振興財団の助成を受けています。

『おかやまの文化財 工芸・史跡』 臼井洋輔 著
●定価：本体1200円＋税

Books Bar in uchisange
7/5 開催の内山下ブックジャ-ニーに
出店しました。 主催：ENNOVA OKAYAMA

1日内山下小学校の校舎の空間で楽しい本の旅をしよう!
というイベント

個性的な本屋さんが数多く出店し、本づくりなどのワークショップも
開催。喫茶店などの飲食ブースも充実し、たくさんの人で賑
わいました。ありがたいことに、吉備人出版のブースは1F階段
前の人通りが絶えないスペースに展開(お向
かいには451BOOKSさん)。吉備人の本、
古本ともに多くの方に手にとっていただけま
した。

13:00からの「ぶくとく」には、
451BOOKSの根本さん、古書店「なつ書」
の藤井さんとともに、代表の山川が登場。

おじさん目線「モテる読書のすすめ」というテーマが話題を呼び
会場は満席。三者の「ミーハー話」で盛り上がりました。

図書館員さんやライター、デザイナーなどたくさんの方との交
流も生まれ、実りの多いイベントとなりました。ご来場いただ
いたみなさん、ありがとうございました。(吉備人新人・守在 涼)



夏の 新刊



『妹尾太郎兼康を「平家物語」
語り本から読み比べる』

妹尾次男著・本体2000円＋税
妹尾兼康は平安末期の武将で、高梁川(総社
市)から取付した「十二ヶ郷用水」の開発者
とされています。その実像は地元の伝承で
しか残っていませんが、本書は「平家物語」
語り本に残る兼康がどのように描かれて
いるか、人物像を探るもの。著者の妹尾
さんはライフワークとして「平家物語」の異本を
蒐集、文学鑑賞として妹尾兼康を探しな
がら読んでおられます。「『平家物語』その
ものが奥の深い作品なので、飽きるとい
うことなく、ワクワクしながら読み進めたい
きました」と話します。蒐集、読み込み、報
紙に6年をかけた労作。

「岡山の現代版昔話を作りたいね」という話
になり、この絵本が企画されました。津山市
では夏祭りを「ごんご祭り」と名付け、毎年
8月に開催。これは、「ごんご祭り」の日に
出会った女の子とぼくのお話です。

『詩集 たちあおい』
国里房子著・本体1000円＋税

著者の国里房子さんは、生まれつきの障害
のために車いすの生活になりました。学校も
車いすで通い、卒業後に普通車の免許を
取得、福祉活動やボランティア活動に
積極的に参加してきました。そして、ボラ
ンティアで活動するご主人と出会って結
婚。長女を産み、「車いすの母」になりま
した。当時、地元新聞でも紹介されまし
た。その後の大きな病気やITがや手術
を乗り越え、今では孫2人の「車いす
のおばあちゃん」になりました。
日々の暮らしの中の想いを綴った
詩86編を収録。

『ごんごの思い出』●本体1000円＋税
ほあら(作:こごまじゅん 絵:やまもとあきこ)

「ごんご」は津山の方言でカッパのこと。津
山在住のやまもとあきこさんが絵を、倉敷住
住のこごまじゅんさんがストーリーを担当。
「ほあら」というユニットで活動しています。

8/15 発刊

10歳の少女が描いた疎開生活
の絵画集。戦後70年を経て、
この絵が私たちに告げて
くれるものとは...



『疎開生活絵巻』石田米子著
田代 行 疎開生活絵巻刊行委員会
A4判(ヨコ) 並製本・76頁＋付
●定価：本体2000円＋税

9月上旬 刊行! あなたも博士に、達人に!

「晴れの国おかやま検定
公式参考書」

★検定の参考書としては6年ぶりの
新刊★